

MiraQ LETTER

一般社団法人未来に輝く企業づくり研究会

VOL.

02

2025.05

Introduction

定例研究会第2回が無事開催！

2025年5月15日（木）MiraQ定例研究会の第2回が開催されました。今回は、現地18名、オンライン10名と合計28名の方にご参加いただきました。5月のテーマは「経営者の責任」。経営と聞いてイメージするのは会社の経営ですが、今回はなかなか考える機会のない、「人生の経営」について。経営層はもちろん一般社員の方も交わって活発なディスカッションが行われました。



Discussion①

あなた普段の行動や選択が組織の未来にどのような影響を与えていると思いますか？

今回のディスカッションでのポイントは「選択」というワード。仕事だけではなく、人生において選択は常にしています。皆さんは何かを選択するときに大切にしていることはありますか？自身のことを考える選択は多いかもしれませんが、未来への影響を考えた選択はどのようにしているのか。多様な意見が交わされました。

【参加者の意見】

「会社に直接何か利益が生まれなかったとしても、社会に貢献ができたという行動は誇れるものだと思う。」Kさん、「ワクワクする会社になりたいという自分の理念に沿った行動や選択は、社内にもそして未来のメンバーにも影響を与えられていると思う。」Kさん、「会社の理念の共有・浸透が大切であり、それに沿った選択ができるようにしないといけないと感じた。」Hさん、といった感想が寄せられました。

「ワクワクする会社」という最高のワードが定例研究会の中で発表されました。また中には社内勉強会を400回以上開催された会社もありました。開催するだけでもすごいです。このように継続できるというのは本当に素晴らしいと思います。参加者より「自社内で学ぶ、社員同士が高め合う事に意識がある風土は羨ましいと思った。社内勉強会を開催できるような会社になりたい。」という感想があり、大変刺激になったと感じました。

Discussion②

あなたは人生の経営者として今どんな選択をしていますか？これからどんな選択をしていきたいですか？

2つめのテーマは1つめの続きで「選択」について。自分の人生は自分で経営しています。その経営の選択をディスカッションテーマとして取り上げました。参加者の皆様が選択をする際に何を大切にされているのか、沢山意見が飛び交いました。例えば、「自分本位ではなく、周りへの影響を考えた選択」「趣味やプライベートも充実できる選択」「選択をしないという選択」「理想と反対の選択はしない」など。中でも深いなと感じたのが、「過去の選択が正解になる選択」。その時は何が正しいのか分からず、それでも進むしかないとき、これで本当に良かったのかなと不安になることもあると思います。でもその選択で良かったと思えるのは、今の行動で変わってくるんだと、事務局も気づきを得ることができました。

【参加者の意見】

「会社も人生も選択の連続なので、軸を持ちたいと思う。」Hさん、「紆余曲折がありながらも、その選択を正解するように懸命に生きてきたことが確認できた。」Sさん、「楽しく前向きに選択をする事が、いまの私に必要な事と強く感じた。」Bさん、「日々の選択が未来の選択につながって行く。そこまで意識できているか、そう考えた時、まだまだ考えれていない自分に気づきました。」Hさん

自分が選択したことに対して皆さんは責任を持っていますか？責任を持つことはプレッシャーですか？今回の定例研究会でのまとめは、「責任とは重荷ではなく、可能性である」ということ。この先も続く自分の人生。責任を持つことは大切ですが、それを重荷に感じず自身の可能性として、前向きに人生の経営を行い続けていけたらと思います。

次回案内

【テーマ】「経営戦略概論」

【日時】2025年6月12日（木）16:00～18:00

【会場】エル・おおさか 南72 もしくは オンライン

定例研究会が開催された、5月15日の日経新聞の朝刊にユニセフの調査結果として日本の子供の「心の健康」が43カ国中、32位と世界的に見ても低調であることが報じられておりました。少しでも大人たちがカッコイイ姿を見せることが、子供たちに夢と希望を与えると信じてMiraQとしても使命感をもって活動していきます。

